



初めてでも釣れた！ 海釣り体験ガイド **その1**



最初は手ぶらで気軽に体験

今回、初めての釣り体験の場として選んだのが、横浜市の大黒ふ頭にある「大黒海づり施設」。仕掛けやエサを販売している他、釣りざおやリール、ライフジャケットの貸し出しもあるので、服装など用意するものに気を付ければ手ぶらでも出かけられます。



ほとんどの海釣り公園にはこのような管理棟がある。大黒海づり施設には、休憩所や飲食の自動販売機もあり、初心者でも釣りを楽しむことができる。



施設や釣り場の利用券を入場の際に購入する。大黒海づり施設では、大人900円で利用できる。



管理棟の売店で、リール付きの釣りざおをレンタル。サビキ仕掛けを購入すれば、その場で装着してもらえる。



エサのオキアミも買って、準備万端。



いざ釣り場へ。釣りデッキは総延長400メートル。柵があるので、初心者でも安心。釣っている人との間隔などに配慮しながら、釣り位置を決めよう。

間違いやすいポイントに注意して

釣りは、基本的なやり方を覚え、間違いやすいポイントに注意すれば、初心者でもすぐに当たり(魚がエサや針に食いついたときに得られる感触)が来ることがあります。



ポイント

釣る場所を決めたら、釣りざおを伸ばす。継ぎ目をしっかり伸ばして、ガイド(糸を通すリング)が直線に並ぶようにする。そうしないと糸がまっすぐ飛ばなかったり、絡みの原因に。



エサをコマセ袋にスプーンなどで押し込むように詰める。溢れるくらい入れても大丈夫。



ポイント

エサを詰めたら、あとは仕掛けを海へ投げ入れる。その際、間違っ、針(サビキ)付近を掴んだり、無駄に釣りざおを振って糸を絡めたりしないこと。